

小学校算数の分析結果

〈小学校算数〉

○良好と考えられること

- ・ 伴って変わる2つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方を表現すること
(椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く問題)
- ・ 台形の意味や性質について理解していること
(テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ問題)
- ・ 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすること
($(151 + 49) \times 3$ と $151 \times 3 + 49 \times 3$ を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める問題)

☆課題と考えられることと今後に向けた改善のポイント

- ◇ 正三角形の意味や性質について理解していること
(切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときの角の大きさを書く問題)
 - ・ 図形を観察したり操作したりする活動の中で、改めて、図形を構成する要素や関係に着目したり、図形の意味や性質を考えたりできるようにする。
例：紙を折ったり切ったりしてできた図形、円周や円の中心を利用した三角形、図形を敷き詰めた模様、合同な図形を写し取って描いた対称な図形などの観察・操作。
- ◇ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて表現すること
(テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大きさについて分かることを選び、選んだわけを書く問題)
 - ・ 日常生活の場面で、ある形を図形と見ること、問題を解決する活動を設定する。
例：天井の長さを知るために、教室の壁を長方形と見て、床の長さに置き換えて測る活動を設定する。また、なぜその方法でよいかについて考察する。
- ◇ (2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えること
($66 \div 3$ の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ問題)
 - ・ 計算の仕方について具体物や図を使って表したり、具体物での操作過程や図で考えた結果を式に表したりする。また、それらを互いに説明し合う活動を設定する。
- ◇ 問題解決の過程で、自らの思考をアウトプットしたり振り返ったりすること
 - ・ 対話や振り返りを重視した児童主体の授業づくりを意識する。また、そのための場づくりを工夫する。